

受審者からひとこと

ISO14001認証取得に当たり

株式会社シーヴィテック
環境管理責任者
荒井 建次

1. 会社紹介

当社は、2002年7月に愛知県田原市において、自動車用無段変速機（CVT）用金属ベルトの国内唯一の専門メーカーとして、ボッシュグループとアイシン・エイ・ダブリュ株式会社（以下、AWと略す。）との合弁で設立されました。その後2006年12月に合弁を解消し、トヨタ自動車株式会社の資本参加のもと、AWの子会社として再スタートをきりました。

昨今燃費志向が高まる中、低燃費、ドライバビリティの向上などのメリットを持ったCVT車は注目され、お陰さまで当社のベルトは多くの自動車に搭載して頂いております。当社はCVTベルトを通じ、地球温暖化防止に貢献すると同時に、また造る側でもその製品に相応しい工場づくりを目指し邁進して行きたいと考えております。

2. 導入の背景

当社はAWグループに属しており、グループをあげて環境保全活動を積極的に推進していますが、今回、その上部組織であるアイシン連結環境委員会からISO14001認証取得の要請がありました。また環境問題への取り組みは企業存続に必須要件である、即ち環境問題にしっかり対応しない企業は社会からも受け入れられないという認識を新たにし、経営トップの方針のもと認証取得に向け活動を進める決意をいたしました。

3. 認証への足取り

2008年5月にキックオフを宣言し、事務局や推進組織を立ち上げ、取り組みを開始しました。環境マネジメントシステムを構築するに当たっては、環境マニュアルの作成からスタートしましたが、なるべく親会社のAWの仕組みをうまく参考にさせて頂きながら環境マニュアルの作成を進めました。並行して、環境影響評価、目的・目標、運用管理、内部監査、マネジメントレビュー等の運用も進めました。その結果、当社の規模にあった環境マネジメントシステムが構築できたと思っています。

4. システム導入のメリット

当社の全社環境目標を「省エネ活動の推進」と「廃棄物排出量の削減」と置き、各部門では、これに加えて独自の目標を設定し展開して参りました。省エネ活動等の各種取り組みの成果が表れた結果、省エネ目標、廃棄物の目標とも達成することができました。また、いままで整理されてなかった法的届出のルールについても、標準化することができ届出漏れが防げるようになりました。なにより大きな成果は、各職場の社員が自らの役割と環境への係わりを理解して行動できるようになったことと、それに伴う人材育成の仕組みの整備により“ひとつづくり”にも大きく寄与できたことです。

5. 今後の活動と取り組み

今後は、省エネ活動や、廃棄物削減の目標値に、原単位の他に総排出量の目標を追加し、また、“有益な環境側面”を考慮した本来業務に関わる内容を目標に取り上げ活動していく考えです。また、定期審査に向けて、社員自ら環境問題を認識し、環境マネジメントシステムの維持・改善に取り組み、より良い仕組みにレベルアップをしていこうと考えております。

最後に今回のISO14001認証にあたりご指導・ご協力頂いた皆様にお礼を申し上げます。

